

## 平和憲法★条文占い

### Aの方＝ズバリ、あなたは9条タイプです。

あなたは人と自然を愛し、理想家で深い感情を内に秘めています。職場や学校、家庭においても無用な争いを避け、あくまでも話し合いで物事を解決しようとするあなたにピッタリの条文は、平和憲法の神髄である第9条です。この9条が自民党草案では骨抜きにされ、日本を戦争のできる「普通の国」にしようとしています。9条の窮状を救ってください！

#### **NOW**

##### <日本国憲法> 第2章 戦争の放棄

**第9条** 【戦争の放棄、戦力及び交戦権の否認】 ①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

#### **FUTURE! ?**

##### <自民党草案> 第2章 安全保障

(平和主義) 第九条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動としての戦争を放棄し、武力による威嚇及び武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては用いない。1)2) 前項の規前項の規定は、自衛権の発動を妨げるものではない。

2)(国防軍) 第九条の二 我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全を確保するため、内閣総理大臣を最高指揮官とする国防軍を保持する。〔新設〕

3 国防軍は、第一項に規定する任務を遂行するための活動のほか、法律の定めるところにより、3)国際社会の平和と安全を確保するために国際的に強調して行われる活動及び 4)公の秩序を維持し、又は国民の生命若しくは自由を守るための活動を行うことができる。

4 前二項に定めるもののほか、国防軍の組織、統制及び5)機密の保持に関する事項は、法律で定める。

5 国防軍に属する軍人その他の公務員がその職務の実施に伴う罪又は国防軍の機密に関する罪を犯した場合の裁判を行うため、法律の定めるところにより、国防軍に5)審判所を置く。

(領土等の保全等) 第九条の三 国は、主権と独立を守るため、6)国民と協力して、領土、領海及び領空を保全し、その資源を確保しなければならない。〔新設〕

## 平和憲法★条文占い

**B**の方＝ズバリ、あなたは**97条タイプ**です。

あなたは正義感、責任感の強い人で、大多数の国民の声よりもごく少数の意見にしか耳を傾けない今の政治に憤りを感じています。また、真面目に努力する姿は周囲から信頼を集めること間違いなし。そんなあなたにピッタリなのは、基本的人権の本質を格調高く謳った第97条。ところが、この97条が、自民党草案では何と丸ごと削除されていることをご存じでしたか？

### **NOW**

＜日本国憲法＞第97条 【基本的人権の本質】この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であって、これらの権利は、過去幾多の試練に堪へ、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである。

### **FUTURE!?**

＜自民党草案＞ →〔丸ごと削除〕



どうして  
削除しちゃうの！？

## 平和憲法★条文占い

### Cの方＝ズバリ、あなたは**24条タイプ**です。

女性は「活用」されるのではなく、エンパワーされるべきだと考えるあなたにピッタリなのは、ベアテ・シロタ・ゴードンさんから日本女性への贈り物、第24条です。女性が自分にふさわしい生き方を選択できるようにとの願いを込められたこの24条の理念が、自民党草案では歪められ、個人よりも共同体、国家を尊重する内容になっています。

#### **NOW**

＜日本国憲法＞第24条 【家族生活における個人の尊厳と両性の平等】①婚姻は、両性の合意のみに基いて成立し、夫婦が同等の権利を有することを基本として、相互の協力により、維持されなければならない。

② 配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、離婚並びに婚姻及び家族に関するその他の事項に関しては、法律は、個人の尊厳と両性の本質的平等に立脚して、制定されなければならない。

#### **FUTURE! ?**

＜自民党草案＞ →次の条項が冒頭に追加される

(家族、婚姻等に関する基本原則)第二十四条 家族は、社会の自然かつ基礎的な単位として尊重される。  
家族は、互いに助け合わなければならない。〔新設〕

(略)

## 平和憲法★条文占い

### Dの方＝ズバリ、あなたは**20条タイプ**です。

いつもアクティブなあなたの原動力となっているのが、強い信仰です。自分の考えをしっかりと持っていますが、自分と考え方の異なる人々の意見にも耳を傾け、相手の立場も尊重します。そんなあなたにピッタリなのは、政教分離の原則を規定した第20条です。この20条が自民党草案では骨抜きにされ、公人の宗教行事への参加に道を開こうとしています。

#### **NOW**

**第20条【信教の自由】**①信教の自由は、何人に対してもこれを保障する。いかなる宗教団体も、国から特権を受け、又は政治上の権力を行使してはならない。

③ 国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない。

#### **FUTURE! ?**

**<自民党草案>**（信教の自由）第二十条 信教の自由は、保障する。国は、いかなる宗教団体に対しても、特権を与えてはならない。

3 国及び地方自治体その他の公共団体は、特定の宗教のための教育その他の宗教的活動をしてはならない。ただし、社会的儀礼又は習俗的行為の範囲を超えないものについては、この限りでない。

### Eの方＝ズバリ、あなたは**13条タイプ**です。

自由奔放で既成概念にとらわれることのないあなたは、周囲から「個性的な人」と見られがち。でも、金子みすゞの詩にあるように「みんなちがって、みんないい。」のです。憲法だって同じ。他の国と違っていようが関係ありません。改憲なんてしなくても、環境権もプライバシーの権利もこの13条の幸福追求権に根拠を求めることができます。自民党草案では、立憲主義の原則である個人の尊重が否定されようとしています。

#### **NOW**

**第13条【個人の尊重・幸福追求権・公共の福祉】**すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

#### **FUTURE! ?**

**<自民党草案>**（人としての尊重等）第十三条 全て国民は、人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公益及び公の秩序に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大限に尊重されなければならない。